

第17課 理由（二）：ことだし・のことだから・だけに・ばかりに・からには／以上（は）／上は

第17課對應《新完全マスター N2》第1部「II 主観を含めて説明する（帶主観説明）」的第17課，主題是「～だから（理由）」的第二組講法。這幾個句型都帶有說話人的主觀判斷：輕輕列舉一個理由去促成決定的～ことだし、根據某人一向的性格或習慣去推測的～のことだから、「正因為...所以特別...」的～だけに、「就因為...才落得不好結果」的～ばかりに，以及「既然...就理應／必須...」的～からには・～以上（は）・～上は。

■ 今課目標

- 用～ことだし 輕輕列舉一個理由，帶出後面的決定（語氣較軟）。
- 用～のことだから 根據某人「一向如此」的性格、習慣去推測。
- 用～だけに 表達「正因為...，所以結果比一般更...（程度更深）」。
- 用～ばかりに 表達「就因為...這一點，才導致不好的結果」。
- 用～からには／～以上（は）／～上は 表達「既然...，就理應、必須...」。

一、～ことだし：既然...（輕輕列舉一個理由）

■ 順帶提一個理由，帶出決定

～ことだし 表示「雖然還有其他理由，但總之就憑『～』這一點，去做後面的事」。它只是輕輕舉出一個理由，語氣較軟、較口語，不是要強調唯一原因。後句多接說話人的判斷、希望、意向，或邀約、提議這類「働きかけ」的句子。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞＋な／＋である・名詞＋の／＋である）＋ことだし。後接判斷、希望、意向或邀約、提議。語氣較軟、口語。

■ 例句

1. 雨も上がったことだし、そろそろ出かけましょうか。
→ 既然雨也停了，差不多該出門了吧。(動詞普通形)
2. 連休も近いことだし、今のうちに仕事を片づけておこう。
→ 既然連假也快到了，趁現在先把工作處理好吧。(イ形容詞)
3. 体調も元気なことだし、久しぶりに遠出でもしようか。
→ 既然身體也很健康，要不要久違地出趟遠門呢？(ナ形容詞+な)
4. 今日は給料日なことだし、たまには外で食事でもしよう。
→ 既然今天是發薪日，偶爾也到外面吃頓飯吧。(名詞+な)

二、～のことだから：因為是... (一向如此的某人)，所以...

■ 憑那個人的人格、習慣去推測

～のことだから 表示「根據某人一向的性格或平時的態度去想，自然會推測出後面的結果」。前面主要接表示「人」的名詞，後句接說話人的推量、判斷。整句帶有「他向來就是這樣的人，所以一定會...」的語感，有時也可放在句末使用。

■ 形式規則

名詞 (多為人) + のことだから。前接「一向如此」的某人；後接說話人的推量、判斷。

■ 例句

1. 努力家の彼のことだから、今度の試験もきっといい結果を出すだろう。
→ 他是個用功的人，這次考試一定也會考出好成績吧。
2. いつも時間に正確な田中さんのことだから、もうとっくに着いているはずだ。
→ 田中先生向來很守時，照理現在早就到了。
3. あの慎重な部長のことだから、何の準備もなしに会議には臨まないだろう。
→ 那位謹慎的部長，應該不會毫無準備就出席會議吧。
4. 娘の帰りが遅いが、しっかり者のあの子のことだから、心配はいらない。
→ 女兒回來得晚，不過她是個能幹的孩子，不必擔心。(放在句中作判斷)

三、～だけに：正因為...，所以特別／更...

■ 正因為如此，程度比一般更深

～だけに 表示「正因為是『～』這種情況，所以理所當然地，結果比一般情況更...（程度更深）」。後句要接「與這個理由相稱的程度或狀態」，可以是好結果，也可以是壞結果。不接邀約、命令這類「働きかけ」的句子。另外「～が～だけに」是「正因為這個『～』不比尋常，所以...」的說法。

■ 形式規則

名詞／普通形（ナ形容詞＋な／＋である・名詞＋である）＋だけに。注意「名詞＋だ」不接續（要用 名詞＋である）。後接與理由相稱的程度、狀態（好壞皆可）；不接働きかけ。

■ 例句

1. あの店は老舗だけに、接客の質が非常に高い。
→ 那家店正因為是老字號，待客的水準格外地高。（名詞，好結果）
2. 彼女は長年舞台に立ってきただけに、人前でも全く緊張しない。
→ 她正因為多年來都站在舞台上，在人前也完全不會緊張。（動詞普通形）
3. 今回は期待が大きかっただけに、負けたときの落胆も大きかった。
→ 這次正因為期待很大，輸了時的失落也格外深。（イ形容詞，壞結果）
4. 祖父は山登りが好きな人だっただけに、いなくなった今は寂しさがいっそう募る。
→ 祖父正因為是個熱愛登山的人，如今他不在了，寂寞更是與日俱增。

四、～ばかりに：就因為...（才導致不好的結果）

■ 就憑這一點小事，惹出壞結果

～ばかりに 表示「就因為『～』這一個原因，才招致了沒料到的、不好的結果」，帶有後悔、惋惜的語感。後句多是負面的結果，不接希望、意向或要求、命令這類「働きかけ」的句子。不過，當前面接表示願望的「～たい」時（例：見たいばかりに），表示的是「為了實現某願望，做了不尋常的事」，這時結果不一定是壞事。

■ 形式規則

普通形（ナ形容詞＋な／＋である・名詞＋である）＋ばかりに。後句多為不好的結果，不接希望、意向或要求、命令；接「～たい」時則表示「為了願望做了不尋常的事」。

■ 例句

1. パスワードを忘れた**ばかりに**、大事なデータが取り出せなくなった。
→ 就因為忘了密碼，重要的資料變得取不出來了。(動詞，壞結果)
2. ほんの一言多かった**ばかりに**、彼との関係がこじれてしまった。
→ 就因為多說了那麼一句話，和他的關係竟鬧僵了。(イ形容詞，壞結果)
3. 手続きが少し複雑な**ばかりに**、申し込みをあきらめる人が多い。
→ 就因為手續稍微複雜了點，放棄報名的人就很多。(ナ形容詞+な)
4. その絶景を一目見たい**ばかりに**、夜明け前から何時間も山道を歩いた。
→ 就為了想看那絕景一眼，天還沒亮就走了好幾個小時的山路。(接「～たい」表願望)

五、～からには・～以上 (は)・～上は：既然...，就 (理應／必須) ...

■ 既然這樣決定了，當然就要...

～からには／～以上 (は) ／～上は 表示「既然是『～』這種情況 (多為自己下了決定或承擔了某身份)，那麼做後面的事就是理所當然的」。整句帶有一種「一般而言當然該如此」的覺悟與決心。後句接說話人的判斷、希望、意向，或要求、命令這類「働きかけ」的句子。三者意思相近，～上は 較為書面、鄭重。

■ 形式規則

普通形 (ナ形容詞+である・名詞+である) + からには・以上 (は) 。～上は 接 動詞辭書形／た形。後接判斷、希望、意向或要求、命令；～上は 較書面。

■ 例句

1. この仕事を引き受けた**からには**、最後まで責任を持ってやり遂げます。
→ 既然接下了這份工作，就要負責到底，把它完成。(からには)
2. プロの選手である**以上**、日々の練習を怠るわけにはいかない。
→ 既然身為職業選手，就不能疏忽每天的練習。(名詞+である+以上)
3. 留学すると決めた**以上は**、どんな困難があっても乗り越えるつもりだ。
→ 既然決定了要留學，無論遇到什麼困難都打算克服。(以上は)
4. 会社を辞めると宣言した**上は**、今後のことを真剣に考えなければならない。
→ 既然已宣布要辭職，就必須認真思考今後的事。(動詞た形+上は，書面)

六、常見錯誤與總整理

だけに 與 ばかりに 的關鍵分別

句型	核心意思	後句結果
～だけに	正因為...，所以程度比一般更深	好結果、壞結果皆可（與理由相稱的程度）
～ばかりに	就因為...，才惹出沒料到的結果	限不好的結果（帶後悔）；接「～たい」時例外
～ことだし	輕輕列舉一個理由，帶出決定	判斷、希望、意向、邀約（語氣軟）
～からには／以上／上は	既然...，就理應、必須...	判斷、希望、意向、要求、命令

■ 常見錯誤

- **×** 雨も上がったことだし、早く出かけなさい。
○ **雨も上がったことだし、そろそろ出かけましょうか。**
ことだし 語氣軟，後句多接邀約、提議或自己的意向；硬性的命令（出かけなさい）語感不搭。
- **×** あの店は老舗だけに、質が高い。
○ **あの店は老舗であるだけに、質が高い。**
だけに 不接「名詞+だ」的形；名詞要用「～である」（老舗である）再接 だけに。
- **×** パスワードを忘れたばかりに、すぐ再設定できて助かった。
○ **パスワードを忘れたばかりに、データが取り出せなくなった。**
ばかりに 的後句要是「沒料到的不好結果」；若結果順利（馬上解決），就不該用ばかりに。
- **×** この仕事を引き受けたばかりに、最後まで責任を持つ。
○ **この仕事を引き受けたからには、最後まで責任を持つ。**
「既然...就理應...」用 からには／以上／上は；ばかりに 是「就因為...才惹出壞結果」，意思完全不同。
- **×** 留学する以上は、ちゃんと目的があるかもしれない。
○ **留学する以上は、ちゃんと目的があるはずだ。**
からには／以上は 帶「理所當然」的覺悟，後句要是肯定的判斷、決心（はずだ／べきだ 等），不搭「かもしれない」這種模糊推測。

自己輸出：用 ことだし・のことだから・だけに・ばかりに・からには（以上／上は）各寫一句。可寫一個促成決定的輕理由、一句對某人的推測、一件「正因為...而格外...」的事，或一句「既然...就必須...」的決心。
